特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名	
5	身体障害者手帳の交付に関する事務	基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

長野県は、身体障害者手帳の交付に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために、適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

長野県知事

公表日

令和7年10月21日

[令和7年5月 様式2]

I 関連情報

②所属長の役職名

障がい者支援課長

1				
1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務				
①事務の名称	身体障害者福祉法による身体障害者手帳の交付に関する事務			
②事務の概要	身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に基づき、身体障害者手帳の交付に係る事務を行う。 1 新規申請に関する事務 ・申請書を受理し、システムに入力する。 ・診断書等により障害程度を審査し、身体障害者手帳の交付の可否を決定する。 ・手帳に該当した場合は身体障害者手帳を交付する。 ・手帳に該当しない場合は却下決定通知を発出する。 2 再交付申請に関する事務(障害程度の変更) ・申請書を受理し、システムに入力する。 ・診断書等により障害程度を審査し、身体障害者手帳の再交付の可否を決定する。 ・手帳に該当した場合は、再認定通知を発出する。また、当該再交付申請は非該当であるが、他に障害認定を受けている場合は、身体障害者手帳を再交付する。 ・手帳に該当しない場合は却下決定通知を発出する。 3 再交付申請に関する事務(破損、紛失等) ・申請書を受理し、システムに入力する。 ・身体障害者手帳を再交付する。 4 氏名、居住地の変更に関する事務 ・届出を受理し、システムに入力する(交付台帳の整理)。 5 返還に関する事務 ・対象者が死亡、非該当になった場合、届出及び手帳を受理(市町村)し、交付台帳から削除する。			
③システムの名称	中間サーバー、統合利用番号連携サーバー、身体障害者手帳交付事務システム			
2. 特定個人情報ファイル	· 名			
身体障害者手帳交付台帳				
3. 個人番号の利用				
法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表 20の項			
4. 情報提供ネットワーク	システムによる情報連携			
①実施の有無	<選択肢>			
②法令上の根拠	【情報提供の根拠】 番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条の表 14の項、18の項、20の項、25の項、37の項、42の項、48の項、49の項、53の項、75の項、76の項、77 の項、80の項、81の項、91の項、92の項、108の項、113の項、124の項、125の項、141の項、144の 項、155の項、161の項、163の項 【情報照会の根拠】 なし			
5. 評価実施機関における	5担当部署			
①部署	健康福祉部障がい者支援課			

6. 他の評価実施機関

7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求

〒380-8570

長野県長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁西庁舎1階

長野県行政情報センター

TEL:026-235-7060(直通)

FAX:026-235-7370

上記の他、県内10箇所の地域振興局行政情報コーナー

http://www.pref.nagano.lg.jp/kokai/kensei/tokei/johokokai/teikyo/joho-center/index.html

8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ

〒380-8570

連絡先

長野県長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁4階

長野県健康福祉部障がい者支援課

電話 026-235-7104(直通)

9. 規則第9条第2項の適用

]適用した

適用した理由

請求先

Ⅱ しきい値判断項目

1. 対象人数						
評価対象の事務の対象人数は何人か		<選択肢>				
	いつ時点の計数か	令和7年3月31日 時点				
2. 取扱者	数					
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上かいの時点の計数か		(選択肢) [500人未満] (300人以上 2)500人未満				
		令和7年3月31日 時点				
3. 重大事	3. 重大事故					
過去1年以内に、評価実施機関において特定個 人情報に関する重大事故が発生したか		(選択肢> [発生なし] 1) 発生あり 2) 発生なし				

Ⅲ しきい値判断結果

しきい値判断結果

基礎項目評価の実施が義務付けられる

Ⅳ リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類				
	項目評価書] 施機関については、それぞ	れ重点項目評値	<選択肢> 1)基礎項目評価書 2)基礎項目評価書及 3)基礎項目評価書及 3)基礎項目評価書及 面書又は全項目評価書において、し	び全項目評価書
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシン	ステムを通じた	:入手を除く。)	
目的外の入手が行われるリ スクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
3. 特定個人情報の使用				
目的を超えた紐付け、事務 に必要のない情報との紐付け が行われるリスクへの対策は 十分か	[十分である	1	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	-
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)に セス権限のない職員等)に よって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分である	1	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
4. 特定個人情報ファイルの	の取扱いの委託]]委託しない
委託先における不正な使用 等のリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
5. 特定個人情報の提供・移転	転(委託や情報提供ネットワ	フークシステムを	通じた提供を除く。) []提供・移転しない
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
6. 情報提供ネットワークシ	マステムとの接続		[O]接続しない(入手) []接続しない(提供)
目的外の入手が行われるリ スクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	-
不正な提供が行われるリス クへの対策は十分か	[十分である	1	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	

7. 特定個人情報の保管・	肖去	
特定個人情報の漏えい・滅 失・毀損リスクへの対策は十 分か	<選択肢> (選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
8. 人手を介在させる作業	[]人手を介在させる作業はない	
人為的ミスが発生するリスク への対策は十分か	<選択肢>1) 特に力を入れている2) 十分である3) 課題が残されている	
判断の根拠	マイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインに従い、手帳交付事務システムへのマイナンバー登録や副本登録の際には、本人からのマイナンバー取得の徹底を厳守している。システムへの個人番号の入力は手作業で実施しているが、複数人での内容確認を行うようにしている。また、副本登録を行う前に県の住基情報と突合しマイナンバーに誤りがないか確認しており、人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分であると考えられる。	
9. 監査		
実施の有無	[O]自己点検 [O]内部監査 []外部監査	
10. 従業者に対する教育	客発	
従業者に対する教育・啓発	<選択肢> (選択肢> 1) 特に力を入れて行っている2) 十分に行っている3) 十分に行っていない	
11. 最も優先度が高いと	えられる対策 []全項目評価又は重点項目評価を実施する	
最も優先度が高いと考えら れる対策	[8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 <選択肢> 目的外の入手が行われるリスクへの対策 目的を超えた紐付け、事務に必要のない情報との紐付けが行われるリスクへの対策 確限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業者に対する教育・啓発	
当該対策は十分か【再掲】	<選択肢>[十分である]1) 特に力を入れている2) 十分である3) 課題が残されている	
判断の根拠	・特定個人情報を含む書類は施錠できる書棚等に保管することを徹底している。 ・住基ネット照会等で使用するUSBメモリは、事前に許可を得た媒体のみが使用可能となるよう制御されており、使用に当たってはパスワード保護・使用簿の記載等ルールを徹底している。 以上の対策を講じていることから、特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分であると考えられる。	

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
平成31年4月26日	Ⅱ -1·2 いつの時点の計数 か	平成30年3月31日	平成31年3月31日	車丝	評価書見直しに合わせた計 数の日の変更であり、しきい 値判断にも変更はないため、 重要な変更に該当しない。
平成31年4月26日	Ⅳリスク対策	なし	全追加	事後	様式変更によるもの
令和2年9月10日	Ⅱ -1·2 いつの時点の計数 か	平成31年3月31日	令和2年3月31日	車仫	評価書見直しに合わせた計 数の日の変更であり、しきい 値判断にも変更はないため、 重要な変更に該当しない。
令和2年9月10日	I 一4. ②法令上の根拠	【情報提供の根拠】 ・番号法第19条第7項 別表第二の16の項、27の項、28の項、31の項、54の項、55の項、56の2の項、57の項、79の項、106の項・番号法別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令 第12条、第20条、第21条、第22条、第28条、第29条、第30条、第31条、第42条、第53条		事後	
令和3年11月1日	I-3. 法令上の根拠	○番号法第9条第1項 別表第一11項 ○番号法別表第一の主務省令で定める事務を 定める命令 第11条	評価書記載のとおり	事後	

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和3年9月1日		【情報提供の根拠】 ・番号法第19条第7項 別表第二 10の項、14の項、16の項、16の2の項、20の項、27の項、28の項、31の項、54の項、55の項、56の2の項、57の項、79の項、85の2の項、106の項、108の項及び116の項 ・番号法別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令第9条第1号口、同条第4号口、第11条第1号口、第12条第1号ト、同条第2号へ、同条第4号ト、同条第6号へ、同条第8号ト、第12条の2第1号、第14条第1号イ、同条第2号イ、第22条第1号イ、第21条第1号イ、同条第2号イ、第22条第1号イ、同条第2号から第11号まで、第28条第1号イ、同条第2号から第10号まで、第29条第1号、第30条第4号、第31条第1号ハ、同条第2号、153条第1号、第43条の4第1号イ、同条第2号、第53条第1号、第43条の4第1号イ、同条第2号、第55条第1号、第6号、第55条第1号ト、同条第6号二、同条第6号二、同条第6号二、同条第6号二、同条第6号二、同条第6号表)のと「情報照会の根拠」なし	評価書記載のとおり	事後	
令和3年11月1日	Ⅱ -1·2. いつの時点の計 数か	令和2年3月31日	令和3年3月31日	事後	評価書見直しに合わせた計 数の日の変更であり、しきい 値判断にも変更はないため、 重要な変更に該当しない。
令和3年11月1日	Ⅳ -6.	[〇]接続しない(提供)	評価書記載のとおり	事後	
令和3年11月1日	Ⅱ -1·2. いつの時点の計 数か	令和3年3月31日	令和4年3月31日	事後	評価書見直しに合わせた計 数の日の変更であり、しきい 値判断にも変更はないため、 重要な変更に該当しない。
令和5年8月2日	Ⅱ -1·2. いつの時点の計 数か	令和4年3月31日	令和5年3月31日	事後	評価書見直しに合わせた計 数の日の変更であり、しきい 値判断にも変更はないため、 重要な変更に該当しない。

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和5年9月12日	IV-4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託	[0]委託しない	評価書記載のとおり	事後	
令和6年9月25日	I-3. 法令上の根拠	番号法第9条第1項 別表第一 11項	評価書記載のとおり	事後	
令和6年9月25日	I -4. ②法令上の根拠	【情報提供の根拠】 番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条 の表 10の項、14の項、16の項、16の2の項、20の 項、27の項、28の項、31の項、54の項、55の 項、56の2の項、57の項、79の項、85の2の項、 106の項、108の項、116の項 【情報照会の根拠】 なし	評価書記載のとおり	事後	
令和6年9月25日	I-5. 評価実施機関における担当部署	①部署 長野県立総合リハビリテーションセンター ②所属長の役職名 所長	評価書記載のとおり	事後	
令和6年9月25日	Ⅱ -1·2. いつの時点の計 数か	令和5年3月31日	令和6年3月31日	事後	評価書見直しに合わせた計 数の日の変更であり、しきい 値判断にも変更はないため、 重要な変更に該当しない。
令和6年9月25日	Ⅳ-8. 監査	[]内部監査	[〇]内部監査	事後	
令和7年10月21日	Ⅱ -1·2. いつの時点の計 数か	令和6年3月31日	令和7年3月31日	事後	評価書見直しに合わせた計 数の日の変更であり、しきい 値判断にも変更はないため、 重要な変更に該当しない。
令和7年10月21日	IV-8. 人手を介在させる作業	なし	評価書記載のとおり	事後	様式変更によるもの
令和7年10月21日	IV-11. 最も優先度が高いと 考えられる対策	なし	評価書記載のとおり	事後	様式変更によるもの